

「国有林材の安定供給システム販売(素材)」の結果公表

平成28年5月13日に公告しました「国有林材の安定供給システム販売(素材)」について、「申請書」及び「企画提案書」等を審査した結果、下記のとおり決定しましたので公表します。

記

1 システム販売の目的

一定の要件を満たす工場等と近畿中国森林管理局長が国有林材の販売に関する相互協定を締結し、その協定に基づき計画的な販売を実施することにより、国有林材の需要、販路の確保・拡大を図り、併せて地域における中核的な素材流通・製材の担い手の育成、流域管理システムの推進等に資することを目的とし、山元において販売するものです。

また、民有林材と国有林材をあわせた国産材の自給率アップに向けて、原木市場でB材・C材といわれる一般材及び低質材の利用・販路の確保等への取組を支援しています。

2 応募状況及び審査内容

(1) 応募状況

番号	関係森林管理署等	公募内容		応募件数
		樹種	数量(m ³)	
1	三重	スギ・ヒノキ	2,000	2
2	三重	スギ・ヒノキ	1,200	1
3	三重	スギ	800	2
4	鳥取	スギ	2,640	2
5	鳥取	スギ・ヒノキ	2,540	2
6	岡山	スギ・ヒノキ	1,880	0
7	広島北部	スギ・ヒノキ	3,500	1
8	三重	チップ原料材N	400	2
9	三重	チップ原料材N	400	0
10	三重	チップ原料材N	300	2
11	鳥取	チップ原料材N	2,080	1
12	島根	チップ原料材N	850	3
13	岡山	チップ原料材N	575	1
14	広島北部	チップ原料材N	1,400	2

(2) 審査内容

企画提案書等の内容が、①システム販売の対象となる需要者の要件を満たしているか(必須項目)、②企画提案する取組の7項目から取組内容が具体的に記載されており数量的指標が記載されているか、③山元購入単価等の提案内容について、審査しました。

3 審査結果

番号	協定締結者	企画提案の概要	
		企画提案する取組	山元購入希望価格 スギ・ヒノキ(円/㎡) チップ原料材N・L(円/㎡)
1	三重県松阪市木の郷町11番地 松阪地区木材協同組合 代表理事 黄瀬 稔	<ul style="list-style-type: none"> ・山土場にて製材所の用途に分ける。 ・立木の確認をし、今売れている寸法の材をとる。 ・素材業者に1本の木で捨てられていたところをバイオマス用のチップ材に活用する。 ・原木に虫食い材があり、その材を製品化し、販売している。 ・地域の製材所が不足している材を県内外にかかわらず、納入を行っている。 ・虫食い材を三重大学と研究し、製品企画に基づき検査等を行いブランド化、あかね材と名づけて県内を中心に販売を行っている。 	<p>平均単価</p> <p>スギ 6,135円</p> <p>ヒノキ 8,369円</p>
2	奈良県桜井市大字成重137番地 西垣林業株式会社 代表取締役 西垣 泰幸	<ul style="list-style-type: none"> ・無人製材機であるノーマンクリアシステムにより、瞬時に最適歩留りを測定し、原木の曲がり具合(矢高)に応じた木取りパターンをプログラムにて製材。また製材機以後のラインにも工夫を加え、鋸間の可変が出来るツインオートテーブルにて更に最適歩留りを追求、そして曲がり材はツインオートテーブルに流れていく前にクロスカット処置(曲がり材の材長を半分に切る)する事により曲がりを抑制した板取りを可能にしている。 ・SGEC(『緑の循環』認証会議)の認証事業体であり、素材生産業、木材・木製品製造業及び同販売業にその認定を得ている。当社は合法性の証明された素材・木材・木材製品を適切に管理する体制も有している。 ・製材時に発生する木皮・挽粉・製材チップはボイラー燃料とし製品のKD化へ利用する等と森林資源を無駄なく利用する生産体制となっている。 ・大型工場だけでなく地域の中小製材所へ情報を発信、収拾する事で地域の状況を把握し、林業及び木材産業の活性化、川上から川下の一連の流れを構築することで一体化を図る。 ・奈良県・三重県・京都府・愛知県の認定工場として地域材の利用拡大に努めている。 ・素材生産班の人員や機能を拡大し、地域の林業が抱える高齢化等による林業従事者の減少に対して継続的な山林経営を図る取組を行っている。 	<p>平均単価</p> <p>スギ 4,570円</p> <p>ヒノキ 6,406円</p>
3	奈良県桜井市大字成重137番地 西垣林業株式会社 代表取締役 西垣 泰幸	<ul style="list-style-type: none"> ・無人製材機であるノーマンクリアシステムにより、瞬時に最適歩留りを測定し、原木の曲がり具合(矢高)に応じた木取りパターンをプログラムにて製材。また製材機以後のラインにも工夫を加え、鋸間の可変が出来るツインオートテーブルにて更に最適歩留りを追求、そして曲がり材はツインオートテーブルに流れていく前にクロスカット処置(曲がり材の材長を半分に切る)する事により曲がりを抑制した板取りを可能にしている。 ・SGEC(『緑の循環』認証会議)の認証事業体であり、素材生産業、木材・木製品製造業及び同販売業にその認定を得ている。当社は合法性の証明された素材・木材・木材製品を適切に管理する体制も有している。 ・製材時に発生する木皮・挽粉・製材チップはボイラー燃料とし製品のKD化へ利用する等と森林資源を無駄なく利用する生産体制となっている。 ・大型工場だけでなく地域の中小製材所へ情報を発信、収拾する事で地域の状況を把握し、林業及び木材産業の活性化、川上から川下の一連の流れを構築することで一体化を図る。 ・奈良県・三重県・京都府・愛知県の認定工場として地域材の利用拡大に努めている。 ・素材生産班の人員や機能を拡大し、地域の林業が抱える高齢化等による林業従事者の減少に対して継続的な山林経営を図る取組を行っている。 	<p>平均単価</p> <p>スギ 4,937円</p>
4	鳥取県鳥取市気高町宝木1562-31 株式会社 エコ開発 代表取締役 荒川 美鈴	<ul style="list-style-type: none"> ・システム販売で原木を購入することにより、素材及び流通のコストが削減される。 ・中国での広範囲の営業により、直径8cm以上のB材、C材の輸出が可能になった。 ・直径8cm以上のB材、C材から集材が可能になり低位な材木も輸出することにより、安定した買取先の一つとして素材生産者の貢献に寄与する。 	<p>平均単価</p> <p>スギ 5,604円</p>
5	鳥取県鳥取市気高町宝木1562-31 株式会社 エコ開発 代表取締役 荒川 美鈴	<ul style="list-style-type: none"> ・システム販売で原木を購入することにより、素材及び流通のコストが削減される。 ・中国での広範囲の営業により、直径8cm以上のB材、C材の輸出が可能になった。 ・直径8cm以上のB材、C材から集材が可能になり低位な材木も輸出することにより、安定した買取先の一つとして素材生産者の貢献に寄与する。 	<p>平均単価</p> <p>スギ 5,186円</p> <p>ヒノキ 7,264円</p>
7	広島県中区上八丁堀8番23号 広島県森林組合連合会 代表理事会長 佐々木 徹	<ul style="list-style-type: none"> ・山から出荷された木材を、樹種、長さ、径級、形状、材質ごとに細かく仕分けし、製材所等の需要先に安定的に供給していく。 ・需要と供給のコーディネートを行い、安定的な集荷と安定的な供給の具現化を長年に亘り担ってきている。 ・従来からの選木機能・選木能力を発揮し選木コストを低減させることや3m材、4m材等の需要を適切に把握し、需要に応じた安定供給に資することで市況の変動を最小限に留めている。 ・14cm未満の小径木については、広島県北部国産材加工協同組合と連携を図り、有利販売(信頼取引)できる環境を整備している。 ・この制度を通じて国産材利用率を高めるとともに、国産材(地域材)の振興と利用、さらには地域林業と木材産業の発展と活性化に貢献していく。 	<p>平均単価</p> <p>スギ 4,850円</p> <p>ヒノキ 7,749円</p>
8	奈良県桜井市大字成重137番地 西垣林業株式会社 代表取締役 西垣 泰幸	<ul style="list-style-type: none"> ・無人製材機であるノーマンクリアシステムにより、瞬時に最適歩留りを測定し、原木の曲がり具合(矢高)に応じた木取りパターンをプログラムにて製材。また製材機以後のラインにも工夫を加え、鋸間の可変が出来るツインオートテーブルにて更に最適歩留りを追求、そして曲がり材はツインオートテーブルに流れていく前にクロスカット処置(曲がり材の材長を半分に切る)する事により曲がりを抑制した板取りを可能にしている。 ・SGEC(『緑の循環』認証会議)の認証事業体であり、素材生産業、木材・木製品製造業及び同販売業にその認定を得ている。当社は合法性の証明された素材・木材・木材製品を適切に管理する体制も有している。 ・製材時に発生する木皮・挽粉・製材チップはボイラー燃料とし製品のKD化へ利用する等と森林資源を無駄なく利用する生産体制となっている。 ・大型工場だけでなく地域の中小製材所へ情報を発信、収拾する事で地域の状況を把握し、林業及び木材産業の活性化、川上から川下の一連の流れを構築することで一体化を図る。 ・奈良県・三重県・京都府・愛知県の認定工場として地域材の利用拡大に努めている。 ・素材生産班の人員や機能を拡大し、地域の林業が抱える高齢化等による林業従事者の減少に対して継続的な山林経営を図る取組を行っている。 	<p>平均単価</p> <p>チップ原料材N 5,000円</p> <p>チップ原料材L 4,000円</p>

番号	協定締結者	企画提案の概要	
		企画提案する取組	山元購入希望価格 スギ・ヒノキ(円/m ³) チップ原料材N・L(円/t)
10	奈良県桜井市大字戒重137番地 西垣林業株式会社 代表取締役 西垣 泰幸	<ul style="list-style-type: none"> ・無人製材機であるノーマンクリアシステムにより、瞬時に最適歩留りを測定し、原木の曲がり具合(矢高)に応じた木取りパターンをプログラムにて製材。また製材機以後のラインにも工夫を加え、鋸間の可変が出来るツインオートテーブルにて更に最適歩留りを追求、そして曲がり材はツインオートテーブルに流れていく前にクロスカット処置(曲がり材の材長を半分に切る)する事により曲がりを抑制した板取りを可能にしている。 ・SGEC(『緑の循環』認証会議)の認証事業体であり、素材生産業、木材・木製品製造業及び同販売業にその認定を得ている。当社は合法性の証明された素材・木材・木材製品を適切に管理する体制も有している。 ・製材時に発生する木皮・挽粉・製材チップはボイラー燃料とし製品のKD化へ利用する等と森林資源を無駄なく利用する生産体制となっている。 ・大型工場だけでなく地域の中小製材所へ情報を発信、取捨する事で地域的情況を把握し、林業及び木材産業の活性化、川上から川下の一連の流れを構築することで一体化を図る。 ・奈良県・三重県・京都府・愛知県の認定工場として地域材の利用拡大に努めている。 ・素材生産班の人員や機能を拡大し、地域の林業が抱える高齢化等による林業従事者の減少に対して継続的な山林経営を図る取組を行っている。 	<p>平均単価</p> <p>チップ原料材N 5,000円</p> <p>チップ原料材L 4,000円</p>
11	鳥根県松江市西津田1丁目2番14号 山陰丸和林業株式会社 代表取締役 北岡 幸一	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県、岡山県、鳥根県に工場及び貯木場があることを活かし、最寄りの集積場に集荷することで、流通コストを低減する。 ・製品は、多種多様、広域にわたり生産販売し、自転車車両を多く保有することで流通工程の無駄を縮減している。 ・木質バイオマス燃料チップの保管は、風通し良くするために桁積みにして保管することで水分の低減に努めている。また、製品は、流通過程で水分を含ませぬようシートで覆うことで水分の低減に努めている。 ・自社の山林伐出班を有することで積極的に枝葉を搬出できることを活かして、森林から搬出された原木・枝葉を余すことなく利用している。 ・造林事業者、素材生産業者、木材市場、原木消費事業者、チップ消費事業者と直接取引していることで川上から川下までの楔となり、森林の更新・循環型林業へ貢献する。 	<p>平均単価</p> <p>チップ原料材N 3,000円</p> <p>チップ原料材L 3,500円</p>
12	鳥根県松江市西津田1丁目2番14号 山陰丸和林業株式会社 代表取締役 北岡 幸一	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県、岡山県、鳥根県に工場及び貯木場があることを活かし、最寄りの集積場に集荷することで、流通コストを低減する。 ・製品は、多種多様、広域にわたり生産販売し、自転車車両を多く保有することで流通工程の無駄を縮減している。 ・木質バイオマス燃料チップの保管は、風通し良くするために桁積みにして保管することで水分の低減に努めている。また、製品は、流通過程で水分を含ませぬようシートで覆うことで水分の低減に努めている。 ・自社の山林伐出班を有することで積極的に枝葉を搬出できることを活かして、森林から搬出された原木・枝葉を余すことなく利用している。 ・造林事業者、素材生産業者、木材市場、原木消費事業者、チップ消費事業者と直接取引していることで川上から川下までの楔となり、森林の更新・循環型林業へ貢献する。 	<p>平均単価</p> <p>チップ原料材N 5,000円</p> <p>チップ原料材L 5,500円</p>
13	鳥根県松江市西津田1丁目2番14号 山陰丸和林業株式会社 代表取締役 北岡 幸一	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県、岡山県、鳥根県に工場及び貯木場があることを活かし、最寄りの集積場に集荷することで、流通コストを低減する。 ・製品は、多種多様、広域にわたり生産販売し、自転車車両を多く保有することで流通工程の無駄を縮減している。 ・木質バイオマス燃料チップの保管は、風通し良くするために桁積みにして保管することで水分の低減に努めている。また、製品は、流通過程で水分を含ませぬようシートで覆うことで水分の低減に努めている。 ・自社の山林伐出班を有することで積極的に枝葉を搬出できることを活かして、森林から搬出された原木・枝葉を余すことなく利用している。 ・造林事業者、素材生産業者、木材市場、原木消費事業者、チップ消費事業者と直接取引していることで川上から川下までの楔となり、森林の更新・循環型林業へ貢献する。 	<p>平均単価</p> <p>チップ原料材N 3,300円</p> <p>チップ原料材L 3,500円</p>
14	広島県安芸高田市向原町坂字谷本4255番地 有限会社 殿林 取締役 森永 賢悟	<ul style="list-style-type: none"> ・間伐、皆伐等から発生する未利用木材を集荷、運搬、チップ加工することで、山林資源を有効活用する。また、山林に未利用材を残さないことで、災害時の二次災害防止や森林更新時でのコスト削減や更新面積拡大に貢献できる取組を推進している。 ・未利用材の買収、集荷、運搬、加工、出荷運搬までの一連の施行を行う事で、年間雇用の構築ができ、長期的な雇用や教育、新規林業従事者の育成を含めた取組が可能となった。また、広島県内で発生した木材を広島県内100%消費する地産地消を推進し地元企業と連携した取組を実施している。 ・地域森林組合、行政、山林所有者と連携し付加価値の少ない山林や林業活動において対象とされない山林を相互間協力で未利用材利用促進協議会を立ち上げ森林経営計画を立てている。 	<p>平均単価</p> <p>チップ原料材N 5,000円</p> <p>チップ原料材L 5,000円</p>